

# 大学の体育とスポーツをリードする

J  
Japanese

A  
Association of

U  
University

P  
Physical

E  
Education and

S  
Sports

創立以来、高等教育機関における体育(大学体育)に関する調査・研究を行い、その成果の普及活用を図るとともに、大学体育に関する相互の連絡、協力体制を確立し、高等教育の発展に寄与してきました。

2012年に公益社団法人に移行してからは、大学における地域貢献の推進や課外スポーツ活動支援などにも取り組んでいます。

(2025年3月末現在、正会員:259校、個人会員110名、賛助会員14団体)



公益社団法人  
全国大学体育連合

## 専務理事ご挨拶

公益社団法人 全国大学体育連合(大体連)は、大学・高等教育機関における保健体育に関する調査を行い、その成果を普及・活用するとともに、相互連携と協力体制を確立し、大学・高等教育の発展に寄与することを目的としています(定款第4条)。

現在、日本の大学は、少子化による学生数の減少、財政難、国際競争力の低下、社会のニーズへの適応といった課題に直面しています。こうした状況の中、大学体育の実践を通じて大学改革に貢献することが求められています。体育は「三育教育」の一環として、心身の健やかな成長に不可欠な基盤であり、大学体育はさらに、学術的な知識やコミュニケーションを通じた道徳・倫理観を統合し、VUCA時代を生き抜く

人材育成を目指す総合的な教育手段となり得ます。

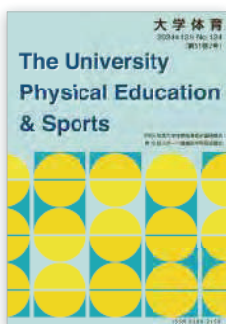
大体連はこの目的のため、学術研究の推進、研究フォーラムの開催、指導力向上(FD)のための研修会などを、各支部および会員校の教員の皆様の多大な協力のもとで進めてきました。今後も、これらの成果を社会へ発信し、さらなる発展を目指して活動を続けてまいります。



全国大学体育連合 専務理事  
村山 光義(慶應義塾大学教授)

## 機関誌『大学体育』の発行

講演会や研修会、シンポジウムなどの記録のほか、各種調査研究の報告、総会や理事会など主要会議の議事録、会員個人や支部からのお知らせなどを掲載した機関誌を年間2号発行し、会員に対する情報提供を行っている。



## 論文誌『大学体育スポーツ学研究』の発行

2004年創刊『大学体育学』は16巻(2019年)より『大学体育スポーツ学研究』へ誌名変更された。大学体育と大学スポーツにおける教育活動の発展に寄与する論文が掲載されている。正式公開は毎年3月、受理論文は大体連HPにて順次、早期公開される。19巻(2022年)より、表紙やページのデザインが一新され、印刷冊子体の販売が開始された。『大学体育スポーツ学研究』とその前身誌『大学体育学』の全巻が、J-STAGEにてオープンアクセス誌として公開されている。



## 大学体育スポーツ研究フォーラムの開催

2013年創設の「大学体育研究フォーラム」は、論文誌と同じく2019年より「大学体育スポーツ研究フォーラム」へ名称変更された。大学体育と大学スポーツにおける教育活動の発展に寄与する生きた情報共有の場として、これまで13回のフォーラムが開催されてきた。第9回(2021年)からは全国の各支部の協力を得ながら、オンラインと対面併用の運営となった。2023年からは、優秀論文賞受賞講演をフォーラム冒頭に設置し、論文誌とフォーラムの有機的連携を図っている。



## 研修会の開催

高等教育機関における体育教育に関わる教職員およびそれを目指している大学院生等を対象に全国研修会、指導者養成研修会、各支部研修会等を毎年開催し、大学体育の指導・運営等に求められる知識やスキルの修得・向上の機会を提供している。



## 大学スポーツの推進

健やかで活気に満ちたキャンパスを実現するために、大学スポーツの推進に取り組んでいる。

### ・大学スポーツ推進宣言

現在、179校の学長が署名している。

### ・調査研究

「大学スポーツ推進に関する学生の意識調査」(2017年)  
「大学スポーツの推進に関するアンケート」(2016年)  
「スポーツ・クラブ統括組織と学修支援・キャリア支援に関する調査」(2015年)

## スポーツ健康系学科長協議会の開催

体育・スポーツや健康に関係する学科や課程の学科長や主任による協議会を2013年から開催している。これまでの協議テーマは、「教育課程と質保証」、「キャリア教育と就職支援」、「アスリート学生の支援」、「入学者選抜方法・入学試験実施」、「ダイバーシティ」、「インテグリティ」である。

## 大学体育 FD 推進校表彰制度

FD 活動の推進において優秀な実績を示している機関会員を表彰している。2004年の開始以来、延べ24機関が表彰されている(過去の表彰校はHPに記載)。

2017年より新たな大学体育FD推進校表彰制度となり、FD推進校とFD優秀校の2つを設置し表彰している。

### ・直近の受賞大学

FD 優秀校：十文字学園女子大学、立命館大学

FD 推進校：茨城キリスト教大学

## 顕彰制度

以下の賞を設け、大学体育教育の振興と発展に寄与した個人を顕彰している。

- 1. 全国大学体育連合賞：**  
本連合の運営に貢献した者
- 2. 大学体育教育賞：**  
大学体育の発展に貢献した者
- 3. 大学体育研修精励賞：**  
本連合主催の研修会に積極的に参加した39歳以下の会員(個人)
- 4. 大学体育研修精励特別賞：**  
本連合主催の研修会に積極的に参加した40歳以上の会員(個人)
- 5. 優秀論文賞：**  
『大学体育スポーツ学研究』に掲載された特に優れた論文
- 6. 大学体育優秀教員賞：**  
大学体育に関する教育方法を研究し優れた教育実践をした者
- 7. 優秀発表賞：**  
大学体育スポーツ研究フォーラムにおける優秀な発表演題



## 地域貢献の推進

スポーツによる地域貢献と産学連携に関する情報提供を行っている。連携協定を結んでいるのは以下の団体である。

- ・ワールドマスターズゲームズ2027関西組織委員会
- ・日本プロゴルフ協会
- ・ゴルフ市場活性化委員会

## 助成事業

### 【研究助成制度】

会員による大学体育の振興、発展に寄与する新しい視点に基づいた斬新な実践的研究に対して研究助成を行っている。研究成果は論文誌などにて公表している。

## 実態調査事業

### 【保健体育教育実態調査】

1991年の大学設置基準大綱化に伴う大学体育のあり方、カリキュラム改革の動向などを把握するため、1995年から2年毎に開講形態(必修・選択)、卒業要件、開講科目(講義・演習・実技)、授業評価等の実態について調査を実施している。さらに、近年では調査内容の見直しを行った結果、1977年より35年以上にわたって継続的に実施してきた大学生の体力に関する調査は、2016年度より教育実態調査に統合して行うこととなった。

### 【会員との共同調査】

会員に参加を募り、学生を対象としたアンケート調査を行っている。最近では以下の調査を行った。

#### ・大学生のスポーツ経験と意識に関する調査

2016年9月～11月に16大学・2短期大学の協力を得て実施し、約6,000人の有効回答を得た。報告書は本連合ホームページに掲載した。

#### ・体育・スポーツ・健康科目の履修に関する調査

2016年12月～2017年2月に12大学の協力を得て実施し、約2,500人の有効回答を得た。報告書は本連合ホームページに掲載した。

#### ・大学スポーツ推進に関する学生の意識調査

2017年9月～11月に18大学・4短期大学の協力を得て実施し、約6,200人の有効回答を得た。報告書は本連合ホームページに掲載した。

## メールニュースの配信

研修会や学会等の案内、公募情報といった最新情報を毎週配信している。メールニュース登録者数は768名(2025年3月末)。

## 将来構想事業

今後の大学教育に対する大学体育連合活動の課題や必要性について、時代の変化と教育の方向性を見据えて検討している。令和6年度からはオンライン意見交換会にて「大学体育の未来を語る」シリーズを続けている。

## 歴代会長

村井 資長	1973～1975	早稲田大学総長
宮島 龍興	1975～1977	筑波大学学長
石川 忠雄	1977～1985	慶應義塾長
前田 充明	1985～1987	国際武道大学副学長
	1987～1988	日本女子体育大学理事長
西原 春夫	1988～1990	早稲田大学総長
	1990～1994	総長室参与・教授
清水 司	1995～2003	東京家政大学学長・理事長
奥島 孝康	2004～2011	早稲田大学総長
安西祐一郎	2011～2023	慶應義塾学事顧問、独立行政法人日本学術振興会顧問
長谷山 彰	2023～現在	北海道国立大学機構理事長

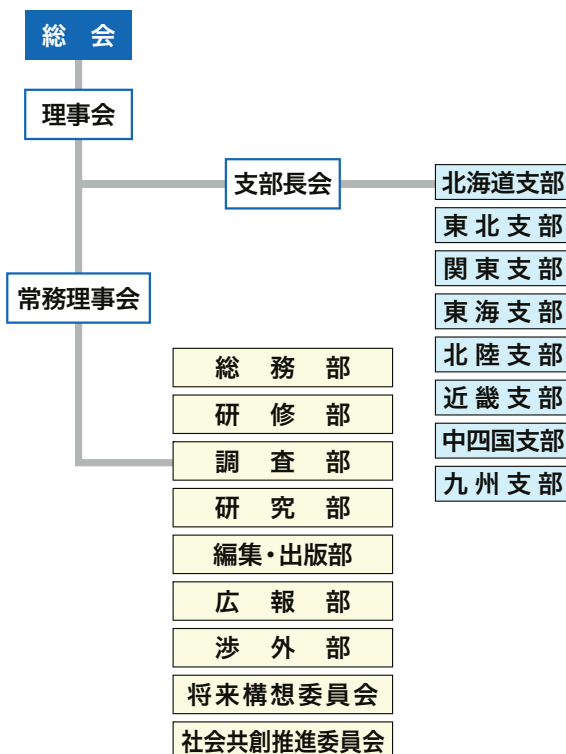
## 歴代理事長・専務理事

西尾 貴一	1973～1975	東京大学
大石三四郎	1975～1982	筑波大学
中村 誠	1982～1983	東京都立大学
	1983～1992	東京家政大学
伊藤 順藏	1992～2001	早稲田大学
杉山 進	2001～2007	お茶の水女子大学
山田 茂	2007～2010	東京大学
	2010～2011	実践女子大学
小林 勝法	2011～2019	文教大学
葛西 順一	2019～2024	早稲田大学
村山 光義	2024～現在	慶應義塾大学

## 役員 (2025年～2026年度)

会長 (代表理事)	長谷山 彰	北海道国立大学機構理事長	理事 (北海道支部長)	小林 秀紹	札幌国際大学
副会長	深代 千之	日本女子体育大学学長	理事 (東北支部長)	三本木 温	八戸学院大学
専務理事 (代表理事)	村山 光義	慶應義塾大学	理事 (関東支部長)	中島 弘毅	松本大学
常務理事 (総務部長)	重城 哲	日本大学	理事 (東海支部長)	富岡 徹	名城大学
常務理事 (総務部副部長)	田畑 亨	流通経済大学	理事 (北陸支部長)	岡本 啓	富山県立大学
常務理事 (研修部長)	浅井 泰詞	高千穂大学	理事 (近畿支部長)	七五三木 聡	大阪大学
常務理事 (調査部長)	白川 哉子	昭和女子大学	理事 (中四国支部長)	高戸 仁郎	岡山県立大学
常務理事 (研究部長)	木内 敦詞	筑波大学	理事 (九州支部長)	田原 亮二	西南学院大学
常務理事 (編集・出版部長)	羽田 雄一	学習院大学	監事	井上 直子	青山学院大学
常務理事 (広報部長)	平工 志穂	東京女子大学	監事	佐藤 健	実践女子大学
常務理事 (渉外部長)	中丸 信吾	日本女子体育大学	監事	高丸 功	学習院大学
常務理事 (将来構想委員会委員長)	石渡 貴之	立教大学	参与	師岡 文男	上智大学
常務理事 (社会共創推進委員会委員長)	北 徹朗	武蔵野美術大学			
顧問	葛西 順一	早稲田大学			
顧問	小林 勝法	文教大学			

## 本法人の組織



## 事務局・支部連絡先

- **本部・事務局**  
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-3-13第2天台ビル303号  
TEL : 03-3232-5738 FAX : 03-3232-5872  
Eメール : info@daitairen.or.jp
- **北海道支部**  
〒004-8602  
北海道札幌市清田区清田4条1-4-1  
札幌国際大学 スポーツ人間学部  
(小林 秀紹)  
TEL : 011-881-8844 (代表)
- **東北支部**  
〒031-8588  
青森県八戸市美保野13-98  
八戸学院大学 健康医療学部 (三本木 温)  
TEL : 0178-25-2711
- **関東支部**  
〒390-1295  
長野県松本市新村2095-1  
松本大学 人間健康学部 (中島 弘毅)  
TEL : 0263-48-7342
- **東海支部**  
〒461-8534  
愛知県名古屋市中区矢田南4-102-9  
名城大学 外国語学部 (富岡 徹)  
TEL : 052-768-5755
- **北陸支部**  
〒939-0398  
富山県射水市黒河5180  
富山県立大学 (岡本 啓)  
TEL : 0766-56-7500
- **近畿支部**  
〒560-0043  
大阪府豊中市待兼山町1-16  
大阪大学 全学教育推進機構  
(七五三木 聡)  
TEL : 06-6850-6984
- **中四国支部**  
〒719-1197  
岡山県総社市窪木111  
岡山県立大学 保健福祉学部 (高戸 仁郎)  
TEL : 0866-94-2111
- **九州支部**  
〒814-8511  
福岡県福岡市早良区西新6-2-92  
西南学院大学 人間科学部 (田原 亮二)  
TEL : 092-823-4103